

～ 今日をきっかけに始めてみませんか？ ～

《始めまで見ませんか？ 防災準備》

1月17日は

『防災とボランティアの日』

1月15日～21日は

『防災とボランティア週間』

昨年の10月、平成以降で最大級の被害をもたらした台風19号は、全国7県で71河川140箇所を決壊させ、氾濫した濁流により各地で死者や行方不明など甚大な被害が出ました。

この台風による被害から学ぶべきは、『まさか豊平川が決壊なんてしないだろう』と考えないことだと思います。

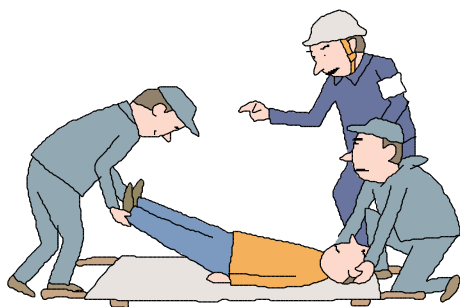
ここ近年、台風レベルではないが発達した低気圧等による大雨により浸水被害や河川の堤防が決壊する等の災害が多くなっており、今やどんな天気でも油断ならないです。

災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。

突然やってくる災害から身を守るためには、日頃から災害に備える・地域での支え合いが非常に重要です。被害に遭いやすい高齢者や子供達を守るため、自助共助がしやすいように日頃から地域住民間のコミュニケーションを図り、地域の防災力を上げましょう。

例えばこんなことを意識してみましよう

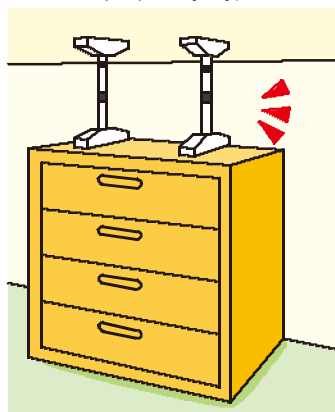
助け合いましょう
(自助共助)



食糧等の備蓄



家具の固定



避難所や避難経路の確認



※ タンスや本棚の下で寝ていませんか？
下敷きになってしまうかもしれません

その他として

- 避難に備えて、現金・保険証・常備薬・着替え等持ち出しリュックを用意する（例として、持ち出しリストを添付したので参考にして下さい）
- 家族が離ればなれになった時の集合場所や連絡方法を話し合っておく
- 日常的に、家族や職場の同僚、友達やご近所と災害を話題にした会話をしましょう、そうすることで防災意識が高まるだけでなく様々なアイデアも生まれます

終わりに、地震をはじめとする災害はいつ起こるか分かりません。

昨年の北海道胆振東部地震は、台風が北海道に上陸して暴風被害の爪痕残る次の日の深夜に起こりました。

是非、この機会に災害・防災について考えて頂き、防災力の高い地域作りにご協力をお願い致します。